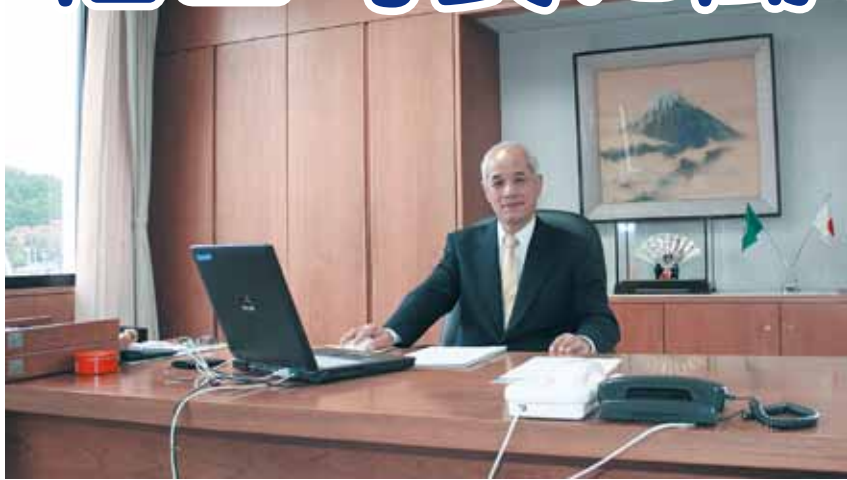


福田町長に聞きました！



▲町長室で執務中の福田町長

昨年11月、猪名川町に新町長が誕生しました。福田長治町長です。

今回は、生まれも育ちも猪名川町という町長の普段の姿を探ろうと、直撃インタビュー。幼少期から現在のことまでプライベートなお話をうかがいました。

<プロフィール>

福田長治（ふくだちょうじ）、昭和22年1月25日生まれ、63歳、血液型A型

特派員報告

いながわ



木下 美由紀



高橋 祐子

わが町のリーダー

町長とは、住民の直接選挙によって選ばれ、その任期は4年です。

福田町長は猪名川町第15代（7人目）の町長で、昭和58年に町議会議員選挙で初当選、以降7期26年間の議員生活を経て、今回町長に就任されました。

猪名川町に携わるすべての人が協力して「小さくても輝くふるさと」をつくるのが、町長の町政への思いです。

小さくても輝くまちへ

人口3万2千人余りと阪神間で最も少ないまちとして、大都市にはない独自の何かを持ちたいと思っています。長引く不況や少子高齢など難しい問題もあります。しか

し、できないことだけ見て嘆くのではなく、今、実際にあるものに目を向け、少しずつでもできることを探し、実行する。そうやって、心豊かな生活を丁寧営んでいきたいのです。

今、あるものとは

私たちに町の8割を占める「里山」があります。大切に守れば、誇れる財産となります。

私自身、ここで生まれ育ち今も住んでいるので、自然に恵まれた住環境がいかに貴重でいいものか、よく知っています。たくさん子どもにこういう環境で育ってほしいので「子育てなら猪名川町で」と、声を大にしてアピールしたいし、年を重ねるにもこの環境はいいと確信しています。豊かな自然のなかにまちの便利な機能もあり、広い世

福田町長のプライベートQ&A part 1

Q.子どもの頃はどんな感じでしたか？

A.6人姉弟の末っ子でおとなしい子どもでした。姉が5人で、周りからは「甘やかされて育った」と言われます。自分では分からないんですけどね。



◀▲子どもの頃の町長

Q.趣味は何かありますか？

A.山に登ることです。高校時代から山岳部に入り、時間があればいろいろな山に登りました。国内の山は大分登りましたよ。以前は、友人7～8人で「猪名川山岳会」を作り、みんなで登山を楽しみました。登山を始めたことによって、体力がつき、そこから気持ちにも変化があり、自分に自信を持てるようになったと思います。

最近は休みがないので全く登っていないのですが、時間ができれば「ゆっくり楽しんで」山に登りたいと思っています。



▲猪名川山岳会で雪山登山

福田町長のプライベートQ&A part 2

Q.ご自分の一番良いところを教えてください。



▲日生中央駅前で子ども達とのふれあい

A.人の話を聞くことができると思っています。人間として、自分の事ばかり一方的に話すばかりではダメだと思います。広くみんなの意見を聞ける耳を持ち続けるようにしていきたいです。

Q.座右の銘はありますか？

A.「一期一会」です。人に会って心を通わせることが大事だと思います。現在はメールもありますが、人と直接会って話すことによって、その人の良いところも分



▲夏の交通安全運動を啓発

かり合えるのだと思います。この仕事は「人とのつながり」で成り立っています。普段は会えない人とも出会うことができ、大変勉強になります。



▲清流猪名川を取り戻そう町民運動で河川清掃

代が集う、活気あるまちにしていきたい。そして、里山の保全を含め、どうやってまちを輝かせるかを、住民と行政とで一緒に考えたいのです。

現在、「創りたいまち」を住民が自分たちで考える場の

「全員参加型」まちづくり

ひとつに、各小学校区からなる「まちづくり協議会」が7つあり、猪名川町にある古くからの地区とニュータウンの地区の住民が自治会ごとでなく小学校区ごとに一緒に活動します。

3つのプロジェクトを進めています。若手職員を中心に、猪名川町の魅力はなにか、魅力あるまちづくりにはどうすればいいかの具体策を検討中です。

両方の住民が仲良く協力するこんな場面はとても嬉しいものです。ほかでも積極的に交流される姿をあちこちで目にできればと思います。

今、自分たちにとっても、将来、ここで育った子どもたちにとっても、輝くふるさとになるようにみんなで力を合わせていきたいです。そのために町長になりました。これからも「みんなと一緒に」と発信し続けたいと思います。

編集後記



穏やかでほらかな人ですが、生まれ育ったこのまちに心がぴたり寄り添い、それが柱となった強さと信念を秘めておられると感じました。時代の変化を柔軟に受け入れながらも、そのせいで大切

なものを失ってはならない、それは人との絆や緑の自然であり、そういうものがみんなの心の中にいつもある温かい生活をめざしておられると思いました。

このまちは、小さいからこそ輝くように思いました。

【いながわ特派員】